

# 福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

号機	1号機		2号機		3号機		4号機	
	3月25日	4月28日	3月25日	4月28日	3月25日	4月28日	3月25日	4月28日
原子炉注水状況	給水系：2.5m <sup>3</sup> /h CS系：2.0m <sup>3</sup> /h (3/25 11:00 現在)	給水系：2.4m <sup>3</sup> /h CS系：2.0m <sup>3</sup> /h (4/28 11:00 現在)	給水系：2.0m <sup>3</sup> /h CS系：2.5m <sup>3</sup> /h (3/25 11:00 現在)	給水系：1.9m <sup>3</sup> /h CS系：2.4m <sup>3</sup> /h (4/28 11:00 現在)	給水系：1.8m <sup>3</sup> /h CS系：2.5m <sup>3</sup> /h (3/25 11:00 現在)	給水系：2.1m <sup>3</sup> /h CS系：2.4m <sup>3</sup> /h (4/28 11:00 現在)		
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：15.6℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：15.5℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：15.4℃ (3/25 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：18.0℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：17.9℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：17.8℃ (4/28 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：21.6℃ (3/25 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：24.5℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：24.7℃ (4/28 11:00 現在)	RPV下部ヘッド温度 (TE-2-3-69L1)：18.6℃ スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：18.7℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：17.2℃ (3/25 11:00 現在)	RPV下部ヘッド温度 (TE-2-3-69L1)：21.2℃ スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：21.3℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：19.8℃ (4/28 11:00 現在)		
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：15.8℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：15.2℃ (3/25 11:00 現在)	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：18.1℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：17.7℃ (4/28 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：28.6℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：21.5℃ (3/25 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：26.1℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2- 16B (TE-16-114G#1)：24.6℃ (4/28 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：18.5℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：16.8℃ (3/25 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：20.5℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：19.3℃ (4/28 11:00 現在)	-	-
原子炉格納容器 圧力	3.6kPa g (3/25 11:00 現在)	0.4kPa g (4/28 11:00 現在)	4.73kPa g (3/25 11:00 現在)	4.46kPa g (4/28 11:00 現在)	0.21kPa g (3/25 11:00 現在)	0.23kPa g (4/28 11:00 現在)		
窒素封入流量 ※1	RPV：28.33Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (3/25 11:00 現在)	RPV：27.93Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (4/28 11:00 現在)	RPV：15.63Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (3/25 11:00 現在)	RPV：15.66Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (4/28 11:00 現在)	RPV：16.64Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (3/25 11:00 現在)	RPV：16.69Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (4/28 11:00 現在)		
原子炉格納容器 水素濃度 ※3	A系：0.01vol% B系：0.01vol% (3/25 11:00 現在)	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (4/28 11:00 現在)	A系：0.10vol% B系：0.07vol% (3/25 11:00 現在)	A系：0.05vol% B系：0.03vol% (4/28 11:00 現在)	A系：0.10vol% B系：0.09vol% (3/25 11:00 現在)	A系：0.04vol% B系：0.04vol% (4/28 11:00 現在)		
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135)	A系：9.60E-04Bq/cm <sup>3</sup> B系：1.63E-03Bq/cm <sup>3</sup> (3/25 11:00 現在)	A系：8.80E-04Bq/cm <sup>3</sup> B系：1.13E-03Bq/cm <sup>3</sup> (4/28 11:00 現在)	A系：ND(2.1E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系：ND(2.0E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (3/25 11:00 現在)	A系：ND(2.1E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系：ND(2.0E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (4/28 11:00 現在)	A系：ND(3.0E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系：ND(3.0E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (3/25 11:00 現在)	A系：ND(3.0E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系：ND(3.0E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (4/28 11:00 現在)		
使用済燃料 プール水温度	14.0℃ (3/25 11:00 現在)	20.0℃ (4/28 11:00 現在)	29.1℃ (3/25 11:00 現在)	18.6℃ (4/28 11:00 現在)	23.1℃ (3/25 11:00 現在)	17.3℃ (4/28 11:00 現在)	9.3℃ (3/25 11:00 現在)	16.0℃ (4/28 11:00 現在)
FPC 排水タンク 水位	2.90m (3/25 11:00 現在)	3.02m (4/28 11:00 現在)	3.79m (3/25 11:00 現在)	3.91m (4/28 11:00 現在)	3.07m (3/25 11:00 現在)	3.13m (4/28 11:00 現在)	36.71×100mm (3/25 11:00 現在)	24.99×100mm (4/28 11:00 現在)

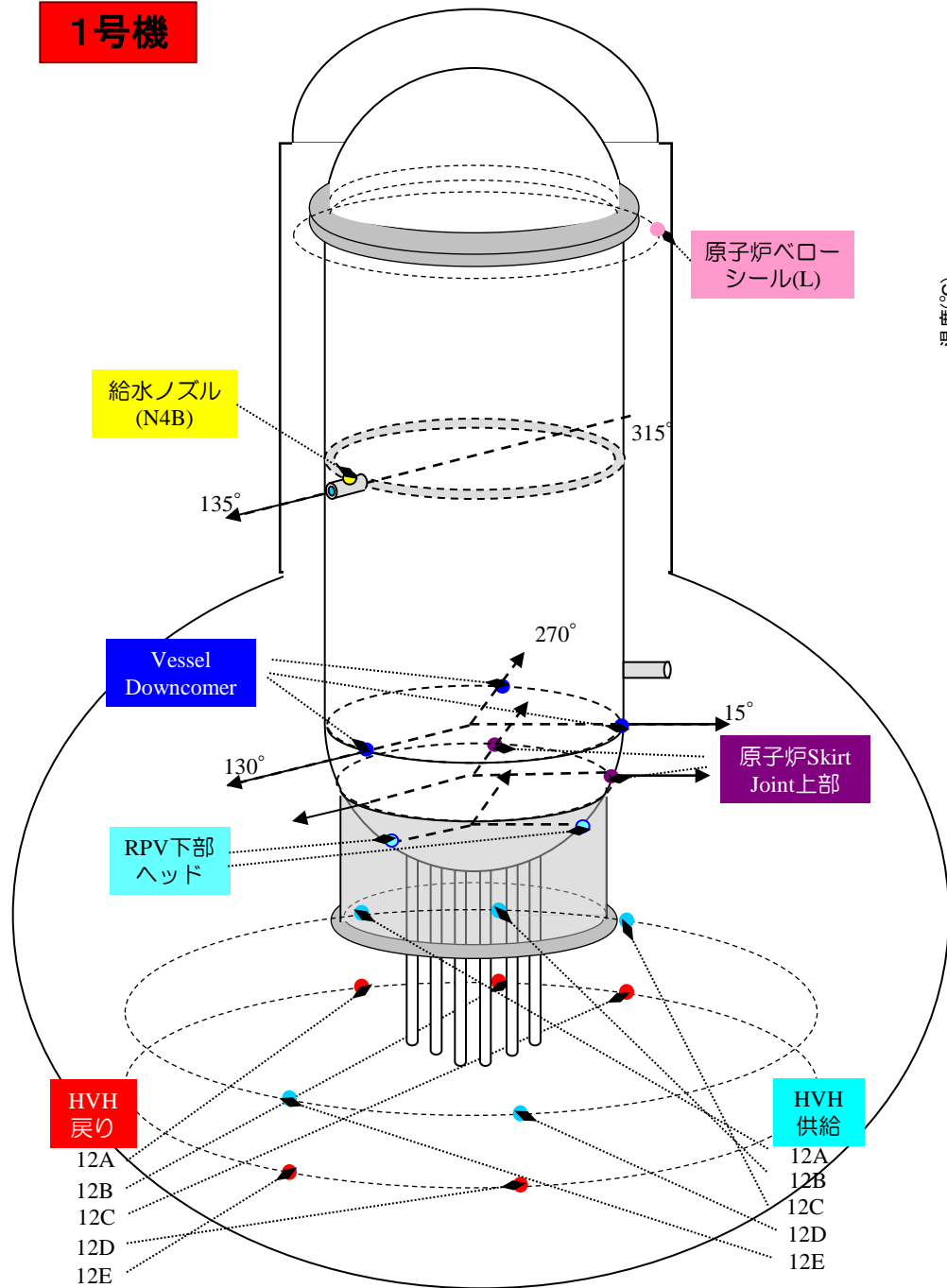
※1: 使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する。  
 ※2: 窒素封入停止中  
 ※3: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)

※注水冷却を継続することにより、1～3号機の原子炉圧力容器底部温度、格納容器気相部温度は、号機や温度計の位置によって異なるものの、至近1ヶ月において、約10℃～約40℃で推移。

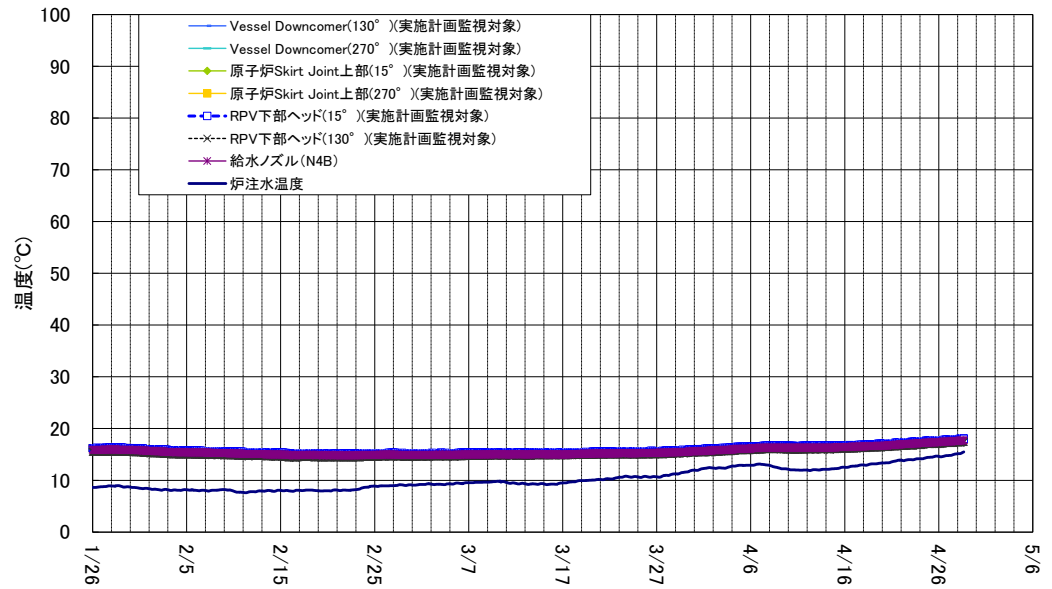
格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量等のパラメータについては有意な変動はなく、冷却状態の異常や臨界等の兆候は確認されていない。

以上より、総合的に冷温停止状態を維持しており、原子炉が安定状態にあることを確認。

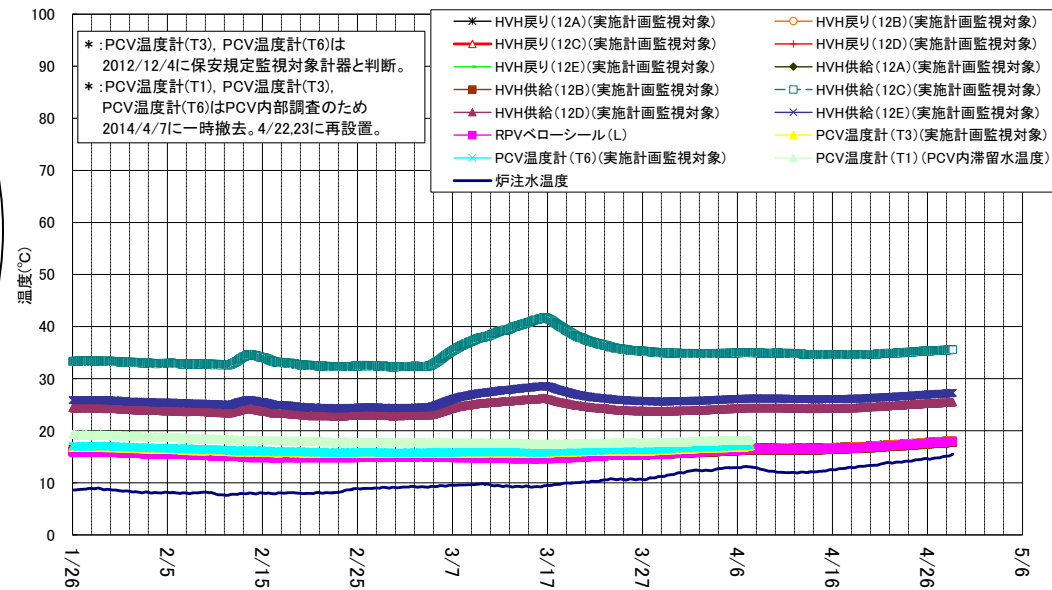
# 1号機



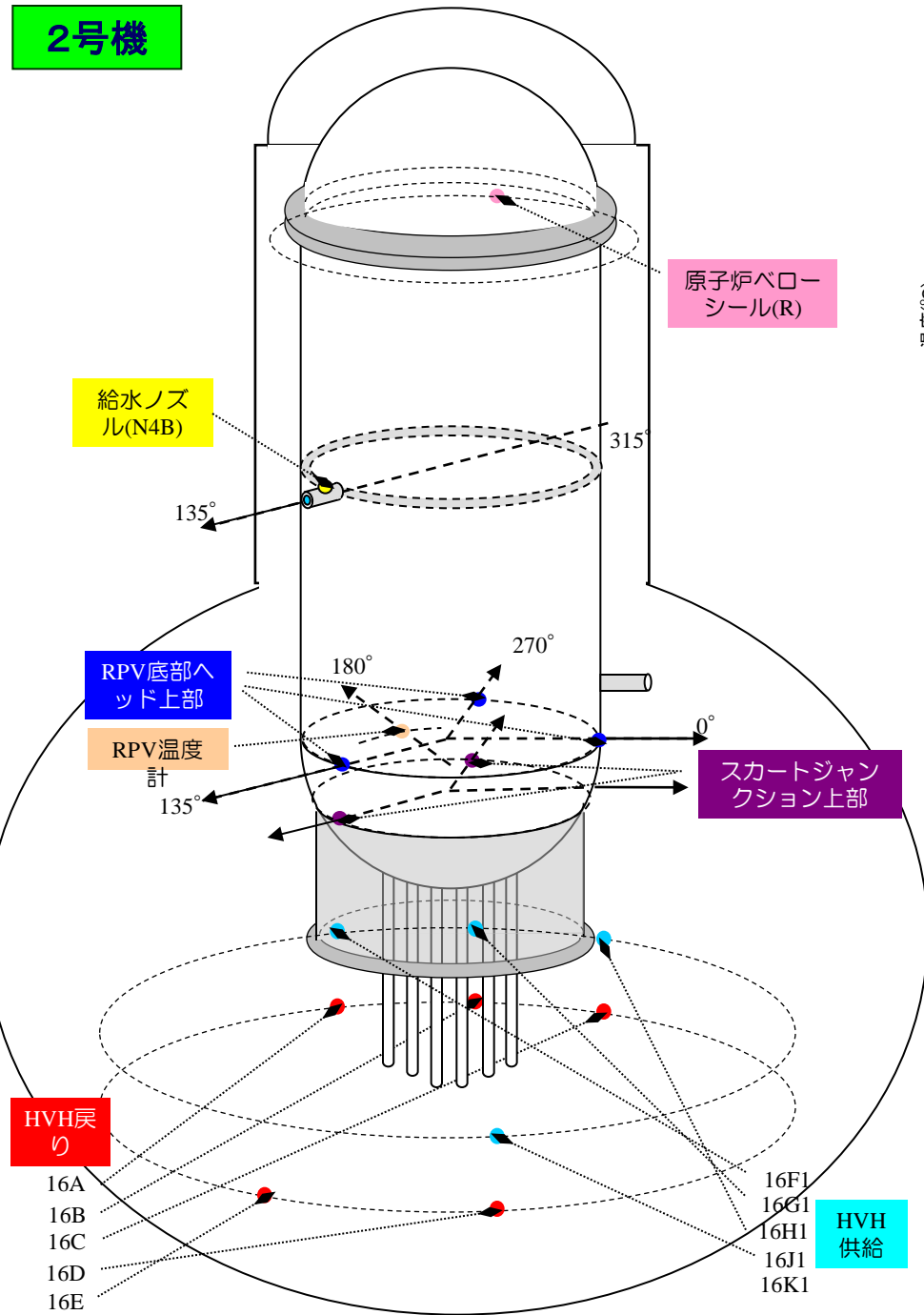
1号機 原子炉圧力容器まわり温度(1/26~4/28)



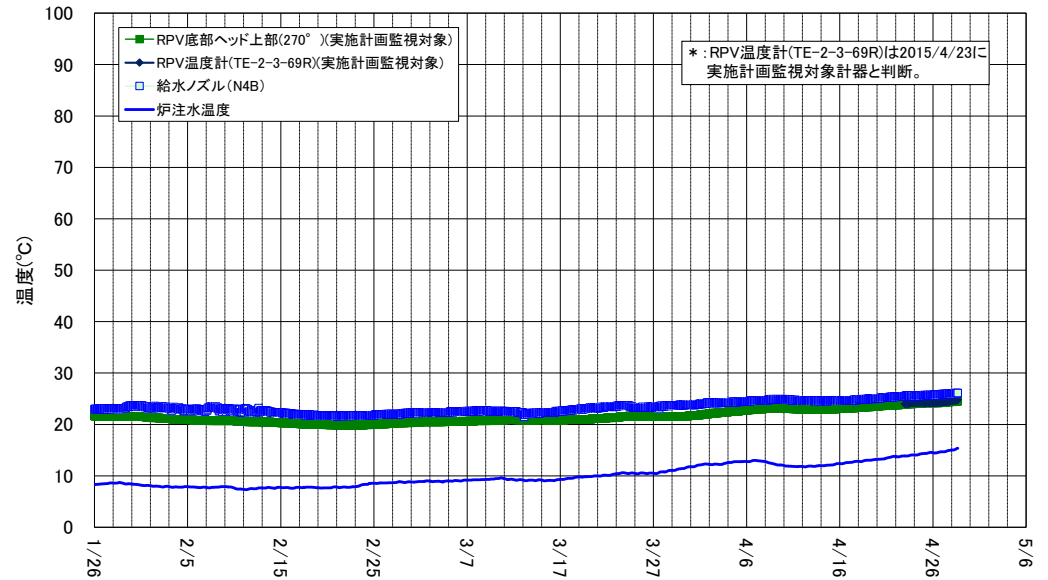
1号機 D/W雰囲気温度(1/26~4/28)



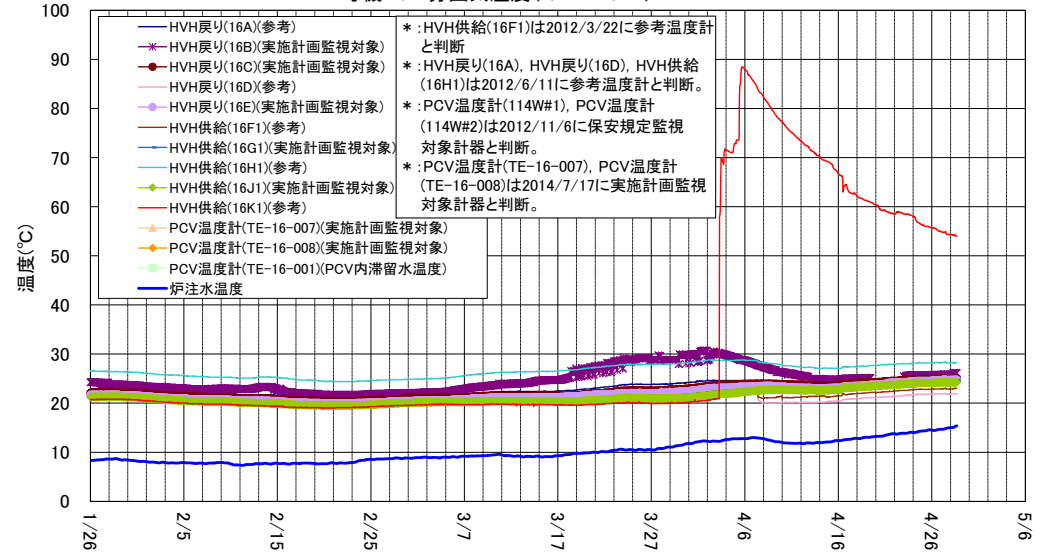
# 2号機



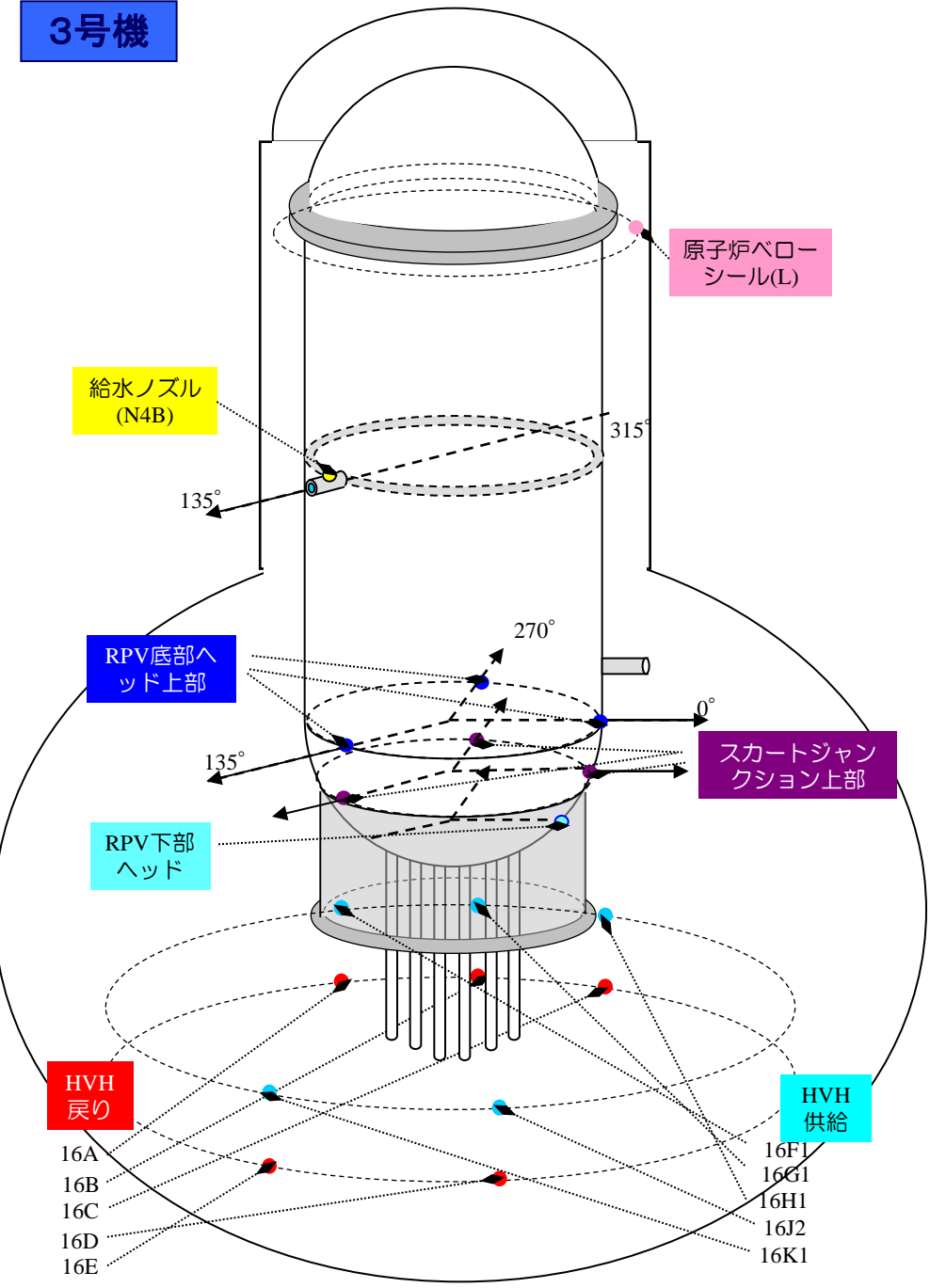
2号機 原子炉圧力容器まわり温度(1/26~4/28)



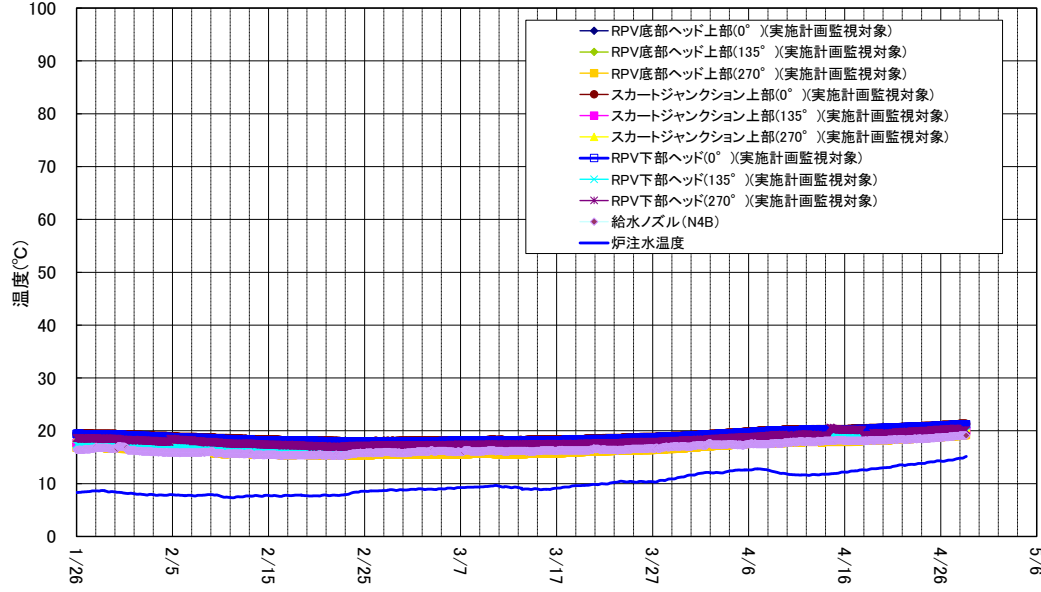
2号機 D/W雰囲気温度(1/26~4/28)



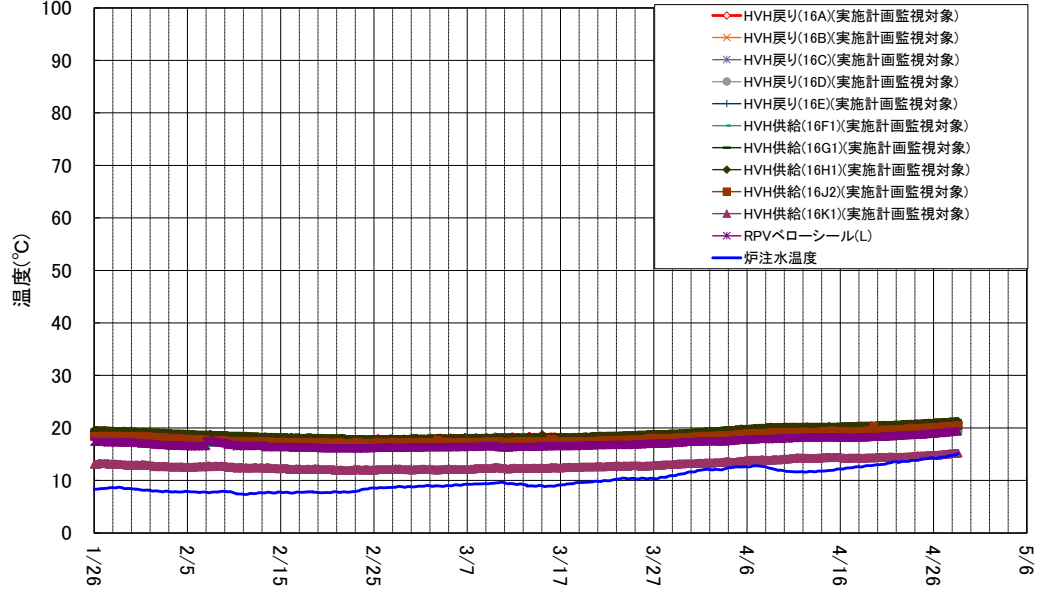
# 3号機



3号機 原子炉圧力容器まわり温度 (1/26~4/28)



3号機 D/W雰囲気温度 (1/26~4/28)



滞留水の貯蔵状況(4月23日時点)

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

- ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量
  - ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
  - ・処理装置(セシウム吸着装置、第二セシウム吸着装置)は運転中
- ②1~4号機タンク貯蔵量
  - ・淡水化装置による処理により、淡水及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
  - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ③5、6号機滞留水貯蔵量
  - ・構内散水によりFエリアタンク貯蔵量は変動あり
- ④廃棄物発生量

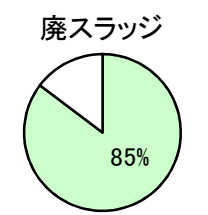
①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約13,700m <sup>3</sup>	OP.2.670
2号機	約17,000m <sup>3</sup>	OP.2.758
3号機	約18,000m <sup>3</sup>	OP.2.731
4号機	約15,700m <sup>3</sup>	OP.2.748
合計	約64,400m <sup>3</sup>	

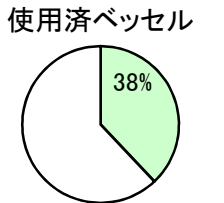
貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約14,860m <sup>3</sup>	OP.4.196
高温焼却炉建屋	約4,210m <sup>3</sup>	OP.2.676
合計	約19,070m <sup>3</sup>	

	貯蔵量	貯蔵容量
廃液供給タンク	585m <sup>3</sup>	1,200m <sup>3</sup>
SPT(B)	900m <sup>3</sup>	3,100m <sup>3</sup>

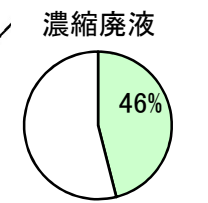
④廃棄物発生量



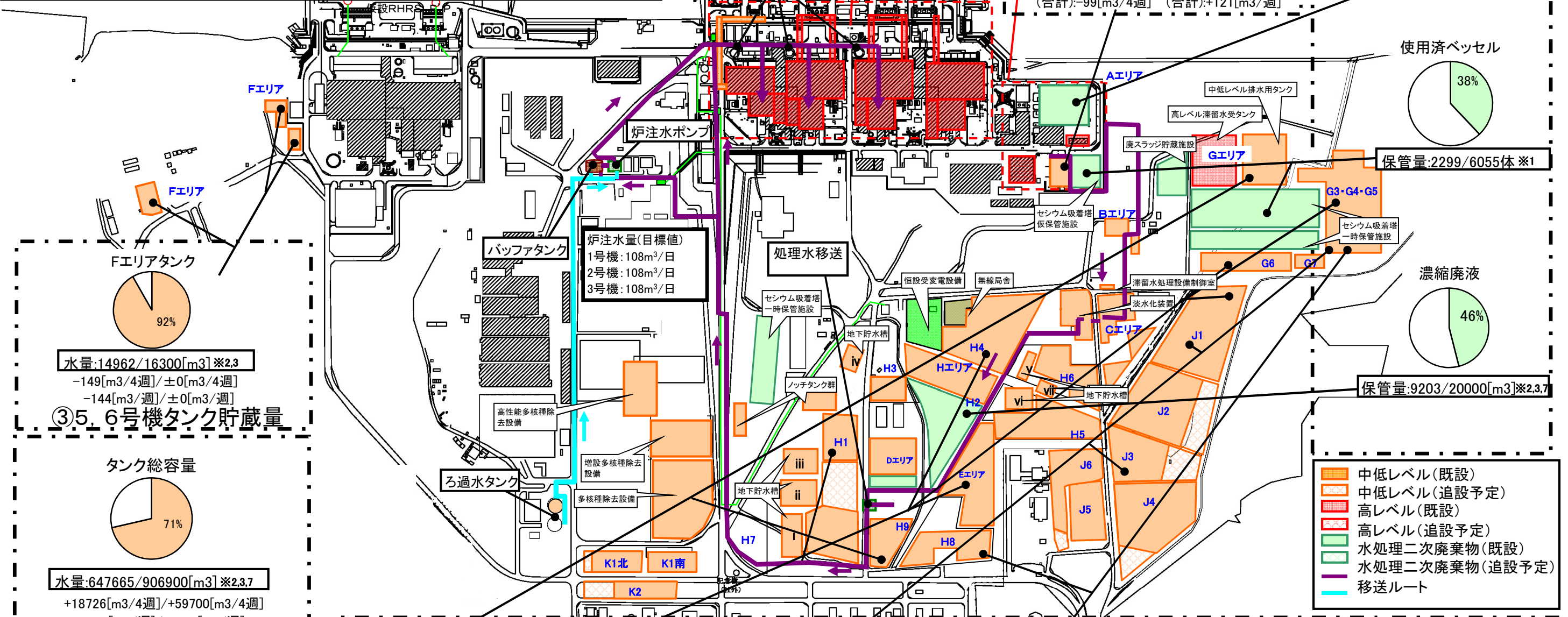
保管量:597/700[m<sup>3</sup>]\*3



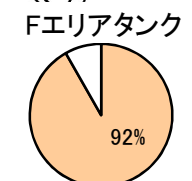
保管量:2299/6055体\*1



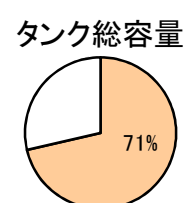
保管量:9203/20000[m<sup>3</sup>]\*2.3.7



③5、6号機タンク貯蔵量



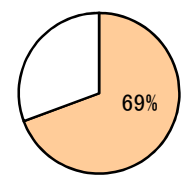
水量:14962/16300[m<sup>3</sup>]\*2.3  
-149[m<sup>3</sup>/4週]/±0[m<sup>3</sup>/4週]  
-144[m<sup>3</sup>/週]/±0[m<sup>3</sup>/週]



水量:647665/906900[m<sup>3</sup>]\*2.3.7  
+18726[m<sup>3</sup>/4週]/+59700[m<sup>3</sup>/4週]  
+4922[m<sup>3</sup>/週]/-3600[m<sup>3</sup>/週]

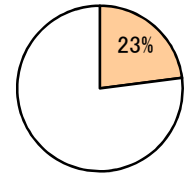
タンク貯蔵量合計(②+③)

②-a 淡水



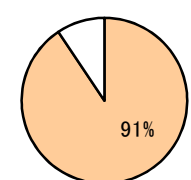
水量:19071/27500[m<sup>3</sup>]\*2.3.7  
+173[m<sup>3</sup>/4週]/±0[m<sup>3</sup>/4週]  
+251[m<sup>3</sup>/週]/±0[m<sup>3</sup>/週]

②-b 濃縮塩水



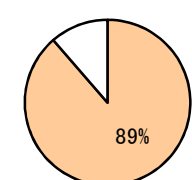
水量:55897/243500[m<sup>3</sup>]\*2.3.7  
-79215[m<sup>3</sup>/4週]/-42800[m<sup>3</sup>/4週]  
-7913[m<sup>3</sup>/週]/-3600[m<sup>3</sup>/週]

②-c 処理水 (多核種除去設備等処理済水)



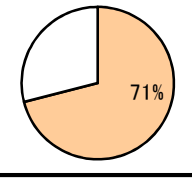
水量:398700/440100[m<sup>3</sup>]\*2.3.4.6.7  
+1690[m<sup>3</sup>/4週]/+59300[m<sup>3</sup>/4週]  
+10383[m<sup>3</sup>/週]/±0[m<sup>3</sup>/週]

②-d Sr処理水等



水量:159035/179500[m<sup>3</sup>]\*2.3.7  
+56227[m<sup>3</sup>/4週]/+43200[m<sup>3</sup>/4週]  
+2345[m<sup>3</sup>/週]/±0[m<sup>3</sup>/週]

1~4号機タンク総容量



水量:632703/890600[m<sup>3</sup>]\*2.3.4.7  
+18875[m<sup>3</sup>/4週]/+59700[m<sup>3</sup>/4週]  
+5066[m<sup>3</sup>/週]/-3600[m<sup>3</sup>/週]

水量:約717658[m<sup>3</sup>]

+16286[m<sup>3</sup>/4週]\*5.7  
+4427[m<sup>3</sup>/週]

建屋内貯蔵量  
+  
1~4号機タンク貯蔵量  
(①+②)

②1~4号機タンク貯蔵量

タンク堰内水の一時貯留量(\*4月28日時点の値を記載)  
・ノッチタンク群 約400(±0[m<sup>3</sup>])/約4900[m<sup>3</sup>]

※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む  
 ※2 装置稼働中につき水位が静定しないため参考扱い  
 ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)  
 ※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵  
 ※5 ウェルポイントの移送量約590m<sup>3</sup>/週を含む  
 ※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む  
 ※7 貯蔵量に下記の「タンク底部~水位計0%の水量(DS)」を含んでいない。淡水約1,000m<sup>3</sup>、濃縮塩水約4,000m<sup>3</sup>、処理水約1000m<sup>3</sup>、Sr処理水等約3000m<sup>3</sup>、濃縮廃液約100m<sup>3</sup>。

### 各エリア別タンク一覧

(2015年4月23日 現在)

#### 汚染水貯蔵タンク

※下線部は前回報告からの変更点

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
B南	5	450	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
B北	15	300	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
C	26	40	鋼製角型タンク(溶接)	濃縮塩水	
	52	40	鋼製角型タンク(溶接)	淡水	
C東	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	RO濃縮塩水からSr処理水等に転用
C西	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	RO濃縮塩水からSr処理水等に転用
D	7	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	
E	18	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(C)	
	31	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
G1	72	100	鋼製横置きタンク(溶接)※土中埋設	淡水	
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G3西	29	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	+11基RO濃縮塩水用からSr処理水等用に転用
	11	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	RO濃縮塩水用からSr処理水等用に転用により11基減 残水処理中
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	残水処理中
G4南	14	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
	3	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	3基の内、2基は使用時期未定
G4北	6	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G5	17	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G6北	19	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	漏えいが確認されたため、1基使用停止 20-1=19 RO濃縮塩水からSr処理水等に転用
G6南	18	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	RO濃縮塩水からSr処理水等に転用
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H1	36	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H1東	12	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H2北	17	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H2南	11	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H3	10	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	フランジ継ぎ手部に高線量箇所が確認されたため使用 停止していた2基の内、1基について、H3エリアタンクの 水抜き期間中連結して再使用。漏えいなし確認済み 11-1=10
H4	20	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H4東	12	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H4北	21	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	漏えいが確認されたことから、2基撤去済み 23-2=21 残水処理中
H5	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	+6基RO濃縮塩水用からSr処理水等用に転用
	23	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	RO濃縮塩水用からSr処理水等用に転用により6基減 内、9基残水処理中
H6	24	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C、R)	
H8南	11	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
H9	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
H9西	7	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
J1	64	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	
	17	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(A、C)	+9基RO濃縮塩水用からSr処理水等用に転用
	17	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	RO濃縮塩水用からSr処理水等用に転用により9基減 残水処理中
J2	27	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J3	13	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設・高性能)	
J4	27	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設・高性能)	
J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J6	30	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
K1北	10	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
K2	20	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
ALPS	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
高ALPS	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
増ALPS	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
水処理	0	8000	No.1ろ過水タンク	濃縮塩水	水抜き、残水処理完了に伴いアウトオブサービスとした
合計	924			Sr処理水等内訳 C:セシウム吸着装置等、M:モバイル型ストロンチウム除去装置等 R:RO濃縮水処理設備、A:多核種除去設備等	

D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	
H2	100	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	

#### 水受けタンク

G1	28	100	鋼製横置きタンク(溶接)※土中埋設	高濃度滞留水	非常用の受けタンクであり、現在未使用
----	----	-----	-------------------	--------	--------------------

#### 汚染水貯蔵タンク

	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
F2	6	35	鋼製角型タンク(溶接)	5、6号機滞留水	Aタンク
	6	42	鋼製角型タンク(溶接)	5、6号機滞留水	Aタンク
	4	110	鋼製角型タンク(溶接+フランジ接合)	5、6号機滞留水	Bタンク
	5	160	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5、6号機滞留水	Cタンク
	2	200	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5、6号機滞留水	Cタンク
F1	3	299	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5、6号機滞留水	hijタンク
	18	508	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5、6号機滞留水	hijタンク
	5	1100	鋼製円筒型タンク(溶接)	5、6号機滞留水	Kタンク
H4北	0	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)		水抜き終了につきアウトオブサービス

合計 49

#### バス用タンク

H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	地下水	
----	---	------	------------------	-----	--